

午後 1 時、最高師範がご到着される。

初めての審査会に不安を抱えながら、9名の白帯は、最高師範の基本の説明と分解を交えながらのご指導を熱心な面持ちで聞き入り、基本稽古の大切さを認識出来たと思う。「空手の稽古が君たちの将来の生き方に結びつくから、熱心に全力で毎日の稽古に励む事です。」と一人一人に話しかけて頂いた。緊張の時間が過ぎ、型・組手にも一層熱が入る。

最後の最高師範のバット折りは、全員が固唾を飲んで見守る中、堅いバットは鈍い音をたてて凄まじい迫力と共に2本に折れた。

学ぶことの多かったこの度の審査会は、兵庫支部が節目を迎え、27年に向けて弛まぬ努力を全員がこの一瞬に誓ったものとなった。

押忍



準備運動、基本稽古と、最高師範の率先垂範の指導が続く





型審査 帯毎に細かい指導がなされる



組手



↑最高師範の試し割り



道場生、受審者達と共に